



SUNSTAR

Building
Momentum
for the Future

2025
サンスターグループ報告書

2025年1月～12月



次の時代を見据えた、 強いサンスターを 目指して

世界中でサンスターと歩みを共にしてくださっている社員、お客様、お取引先、そして地域社会の皆様へ。

創業家の一員として、これまで変わらぬご信頼とご尽力を賜っておりますことに、心より感謝を申し上げます。2025年、サンスターは戦略的な集中と規律のもと、着実に前進を続け、グローバルに一体となった企業として経営体制を強化しました。サンスター社員一人ひとりのコミットメントと専門性、そしてお客様・お取引先の皆様からの信頼は、サンスターの前進を支える基礎となっています。

2024年、取締役会は、熟慮の末、サンスターの発展のための次なる段階へ踏み出すことを決断しました。私たちを取り巻く世界が社会・経済・テクノロジーの各面で急速に変化していることを認識し、当社もまた、明確な方向性と目的意識をもって進化していく必要があると考えました。そして、「成長の促進」「効率性の向上」「能力の強化」という3つの戦略の柱を指針に、長期的な成功に必要な基盤の強化に着手しました。この1年については、ガバナンスの強化、リーダーシップの強化、そして地域や部門を越えた連携の強化に取り組んできました。意義ある変革には、信念と規律、そして持続的な努力が不可欠です。

サンスターの社是



プロフェッショナルとして、卓越した業務遂行と戦略実行で事業を牽引していきます。一方、創業家の責任は、世代を超えた長期的観点でのサンスターの存在意義と揺るぎない基盤、そして起業家精神を守り続けることにあります。「常に人々の健康の増進と生活文化の向上に奉仕する」という社是は、今も変わらず私たちの羅針盤です。長年にわたりサンスターを形づくってきた価値観 ― 質の追求、誠実さ、未来を見据える精神 ― に根ざし、変化する世界の中で競争力と存在意義を維持するため、必要な見直しを重ねていきます。

進歩には勇気が必要です。サンスターの一人ひとりがそれぞれの立場で責任を果たし、サンスターの前進に主体的に貢献することが求められています。そうなればサンスターは、さらに強固となり、焦点もより定まり、目の前にあるチャンスを捉えるより良い準備が整うでしょう。

最後に、サンスターの進展に貢献してくださっているすべての皆様に、心より感謝を申し上げます。高いコミットメントと専門性でサンスターの成功を支えてくださる社員の皆様、当社に信頼を寄せてくださるお客様およびパートナーの皆様、そして世界中でサンスターと歩みを共にしてくださる地域社会の皆様、改めて敬意を表します。皆様の信頼と協力は、サンスターが末長く進化を積み重ねていく原動力です。

創業家として、サンスターを責任ある持続可能な経営のもとで守り育て、将来の世代へと引き継いでいくために、これからも強い決意のもと尽力してまいります。皆様と共に、サンスターの強く確かな未来を引き続き築いてまいります。

金田 真弓
取締役



サンスターは今、その歴史の中で重要な局面にあります。祖父が1932年に日本でサンスターを創設し、父は今日のグローバル企業へと成長させるうえで極めて重要な役割を果たしました。創業家は、サンスターを守り育てる責任とガバナンスを担う第三世代へと歩みを進めています。祖父と父が築いた礎を土台に、その価値観を受け継ぎ、これからも続く会社の進化を支えることで、サンスターの末長い未来を築いていくことに全力を注いでまいります。また明確な方向性のもと、透明性の高いコミュニケーションを大切に、社員一人ひとりへの深い敬意をもって歩みを進めていきます。

会社が進化を続ける中、私は、サンスターの使命と功績を守り続ける事業継承の責任を強く感じています。経営陣は

経営基本方針

- 消費者志向に徹する
- 技術、品質、コストを究める
- 健全な経営体質をつくる
- 国際的な視野で未来を見つめる
- 人財を鍛え、育てる
- 全員一体の経営を進める

サンスター人の行動規範・8精神

- 使命感と勇気をもって行動する
- 姿を正し、言葉を正し、心を正す
- 自己研鑽につとめ知性と教養を高める
- 進取の気風をもち、創造力を養う
- 協調、協和により総合力を発揮する
- 信頼し、信頼される人になる
- 心と体の健康を増進する
- 感謝の気持ちをもち、人の恩に報いる



目次

概要

次の時代を見据えた、強いサンスターを目指して	2
目次	5
健康の増進と生活文化の向上に奉仕する	6
取締役会メッセージ	7
サンスターグループの歩み	8

事業

サンスターグループ業績	10
Our Consumer Business	12
Our Industrial Business	18

サステナビリティ

持続可能な未来のためにサンスターが果たす役割	23
環境	24
社会	26
ガバナンス	28

健康の増進と 生活文化の 向上に奉仕する

サンスターでは、消費財事業と生産財事業のいずれにおいても、イノベーションの推進、健全な事業運営、長期的な価値創造を通じて社是を具現化しています。

また、当社の業績、サステナビリティへの取り組み、ガバナンスは、消費者や社会の変化するニーズに応じて有意義かつ持続可能な形で貢献するために、当社が自らの能力をどのように強化しているかを示しています。

取締役会メッセージ

SUNSTAR

サンスターは、常に人々の健康の増進と生活文化の向上に奉仕することを使命としています。消費財事業と生産財事業の両分野において、これまで培ってきた歴史を礎としながら、科学とエンジニアリングの知見を活かし、お客様と社会に価値を提供します。

2024年、サンスターは「成長の促進」「効率性の向上」「能力の強化」という3つの柱を指針に、グループ全体の変革を開始しました。2025年を通じて取締役会は、グループエグゼクティブコミッティがこれらの優先事項を実行するよう監督してきました。特にガバナンスとリスクマネジメントに重点を置き、会社の継続的な発展を支える基盤を整えるとともに、重要な取り組みを支える強固で信頼性の高い事業運営体制を確実に整備してきました。

こうした背景のもと、2025年も消費財事業と生産財事業は、各事業の優先事項の推進に取り組みました。

消費財事業では、中核となるオーラルケア事業の強化に、世界各国の市場で引き続き注力してきました。研究開発およびサプライチェーン・品質の運営モデル変革により、グローバルな連携が一層進み、真の消費者ニーズに応えるイノベーションを推進しています。さらに、マーケティング部門をグローバル全体を牽引する戦略的な機能へと進化させることで、こうした取り組みを支えています。

生産財事業では、「ケミカル」と「MC」の2つの製品部門を通じて、高付加価値のソリューションを引き続き提供しています。効率的な製品設計と製造プロセスを通じた環境負荷低減の取り組みは、引き続き最重要課題となっています。

私たちは、進歩は一人ひとりの力を合わせた取り組みによって実現するものだと考えています。2025年は、世界中のサンスター社員の尽力が、グループの前進に不可欠でした。そのため取締役会は、サンスターの社員の声に耳を傾けることを優先事項としています。1年を通じて対話の機会を持つことができた多くの社員、そして従業員エンゲージメント調査を通じて意見を寄せてくれた皆様に心より感謝申し上げます。こうしたフィードバックは、一貫性のあるコミュニケーション、明確な優先事項、そして社員一人ひとりが最大限力を発揮できる環境の重要性を改めて示すものとなりました。私たちは、サンスターが進化を続けていく中で、経営陣がこれらの原則を常に中核に据えることを約束します。



サンスターは、これまでに多くの成果を上げることができました。この歩みを共にしてきたすべての社員の皆様に感謝申し上げます。皆様の努力とコミットメントは、すでに前向きな形で現れ始めています。また、まだ取り組むべき課題が残っていることも認識しています。

取締役会を代表して、サンスターのお客様、お取引先、株主の皆様の変わらぬご支援とご信頼に感謝申し上げます。強固な基盤が整った今、サンスターは自信と明確な方向性をもって、次なる成長を加速させていきます。

Michel Pettigrew
取締役会 会長

サンスターグループの歩み

サンスターの歴史は、イノベーションと大きな志を原動力として、1932年に日本で始まりました。自転車パンク修理用の携帯ゴム糊から、先進的なオーラルケアへ。こうした初期の技術革新が、今日のサンスターのグローバルでの生産財および消費財事業の礎を築きました。



1932年
サンスター創業者
金田 邦夫
大阪にて

INDUSTRIAL BUSINESS

CONSUMER BUSINESS



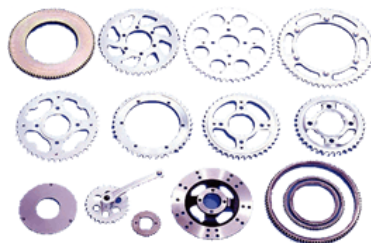
1932

創業者の金田邦夫が
自転車パンク修理用
携帯ゴム糊を開発



1954

自転車用ギヤクランク
の生産開始



1961

二輪車用スプロケットが
新たな成功を生み出す



1967

合弁会社サンスターエセックス化学を通じて
工業用シーリング材事業に参入し、建築用
シーリング材「Betaseal 169」を発売



1973

二輪車用ブレーキ
ディスクの量産開始

1930

1940

1950

1960

1970

1980



1946

サンスターのチューブ入り
練ハミガキが日本のオー
ラルケア市場を変革



1966

米国で合弁会社を設立し、
「VO5ヘアスプレー」を
発売



1968

新たな革新として、
塩入りハミガキ
「SALT」を発売

1986

歯周病予防をテーマに
神戸で「ポートサイドシンポ
ジウム'86」を開催し、口腔と
全身の健康の関連性に
関する研究を開始



1988

包括的な健康ブランド
「健康道場®」を発売

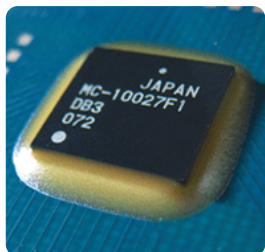


1989

GUM®ブランドの発売

当社のユニークな伝統は今もなお、科学と工学の力を活用し、「人々の健康の増進と生活文化の向上に奉仕する」という私たちの理念を形作っています。現在、この理念は、持続可能な成長、効率性の向上、継続的な能力強化、明確で一貫したコミュニケーションへの基盤となり、長期的な価値創造に取り組む当社の姿勢に反映されてい

ます。私たちは、優れた専門知識と大きな影響力を持つグローバルチームとして一丸となり、社会の期待の変化や科学的イノベーションに対応しつつ、変化が激しさを増す事業環境の中で挑戦し続けています。



1990s

生産財がエレクトロニクス分野で成功を収める



1990s

サンスターケミカルタイランド (SCT) およびサンスターエンジニアリングインドネシア (SEI) を設立



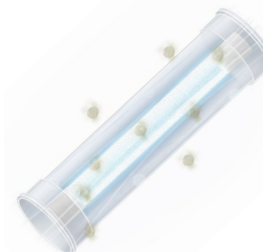
2004

サンスター広州 (中国) を設立



2009

二輪車部品の地域供給拠点としてシンガポールに工場を建設



2017

ユーヴィックス社を買収し、室内空気質改善事業を拡大



2024

環境対応ブレーキディスクを開発

1990



1990

世界初の歯周病治療用の抗生物質製剤を発売

2000



1998

「Ora2」ブランドを発売

2010



2005

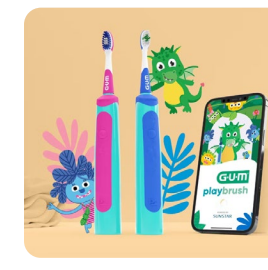
プレミアムスキンケア市場に参入し、「エクイタンス」を発売

2020



2011

「ガム・ソフトピック」をグローバルで発売



2022

スマートハブラシ「GUM Playbrush」を欧州で発売

サンスター グループ業績

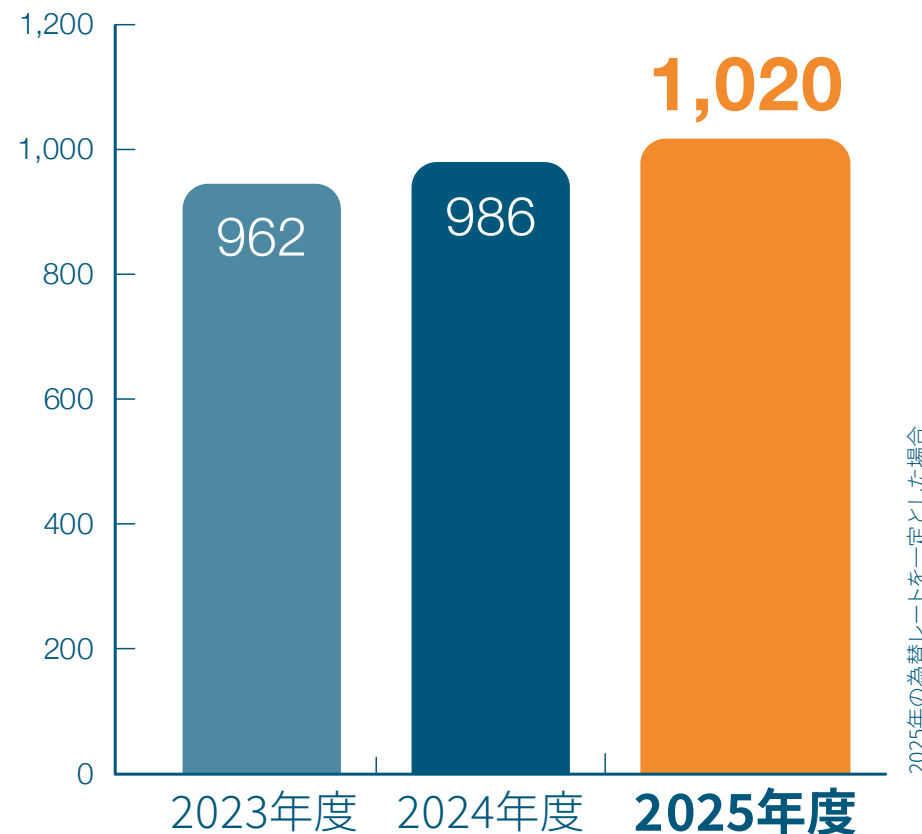
2025年度のサンスターグループ全体の売上は10億2,000万スイスフランとなり、一定為替レート(CFx)ベースでは前年度比約3.4%の増加(為替影響を含めた場合は1.6%の減少)となりました。

事業別に見ると、消費財事業では、ターゲットを絞った製品イノベーション、効果的なプロモーション、歯間ケア製品の好調継続により、CFxベースで2.8%増加しました。また、生産財事業では、自動車業界向けの高性能接着剤・シーリング材の好調および主要新興市場におけるMC部門の拡大により、CFxベースで4.3%増加しました。

本レポートに記載の財務情報は、国際財務報告基準(IFRS)に準拠しています。

グループ全体の売上高 (一定為替レートベース)

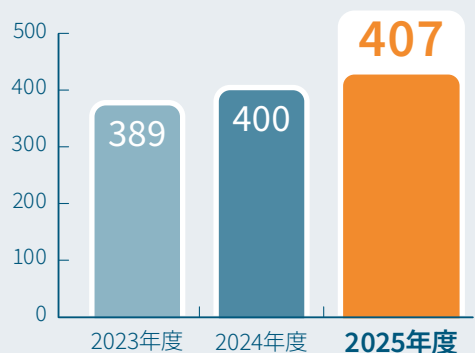
単位:百万スイスフラン



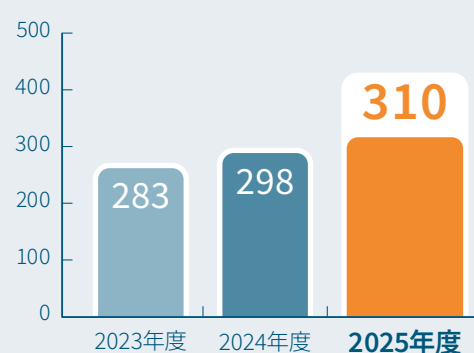
重要指標

(実績ベース)

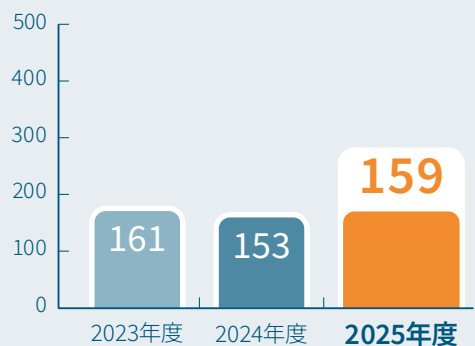
日本 | 純売上 (百万スイスフラン)



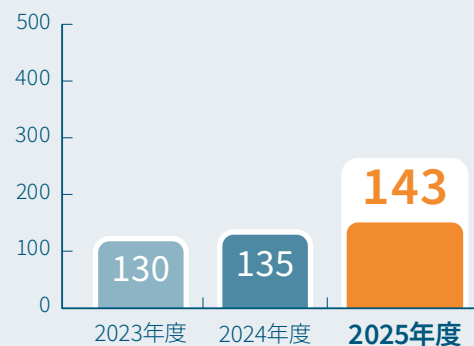
米州 | 純売上 (百万スイスフラン)



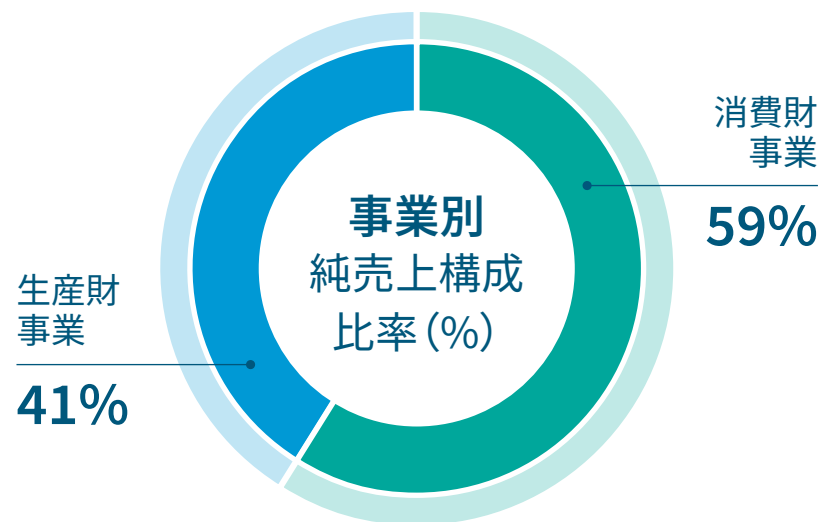
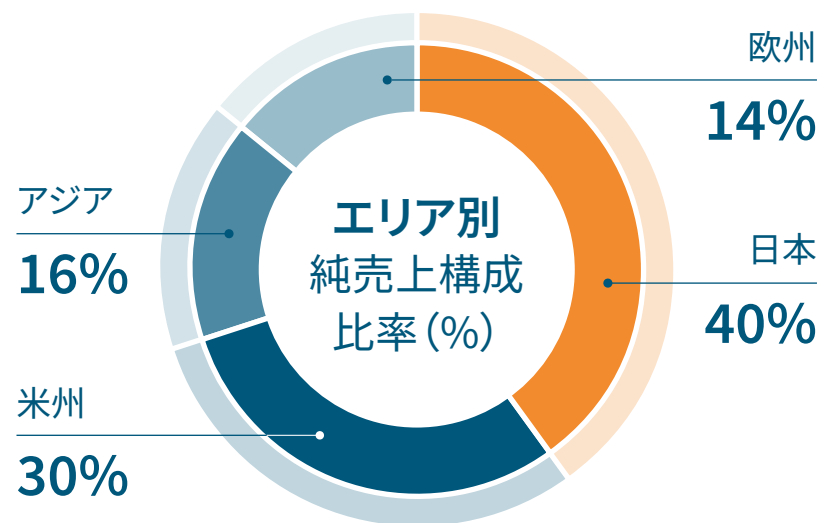
アジア | 純売上 (百万スイスフラン)



欧州 | 純売上 (百万スイスフラン)



2025年度 純売上





Our Consumer Business

口腔と全身の健康に貢献する

サンスターの消費財事業は、オーラルケアを主軸として、業界トップクラスの幅広い製品バリエーションを展開しています。サンスターのブランド展開には、お口の健康、ビューティ、そしてウェルネスに対する当社のコミットメントが反映されています。

消費財事業

純売上 (百万スイスフラン)



サンスターのグローバルオーラルヘルスブランド。深い知見に基づく精密ケアにより健やかな歯ぐきと口腔を実現し、全身の健康を増進します。

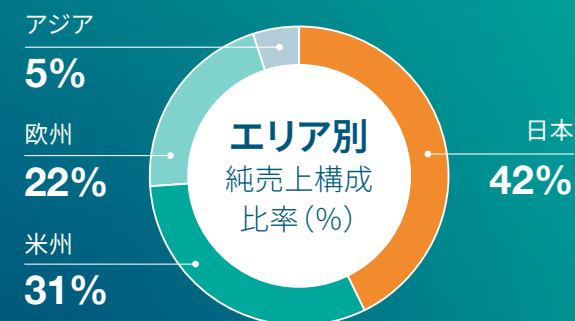
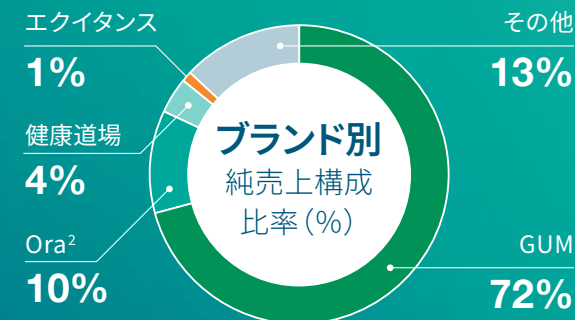


日本およびアジアで販売するオーラルビューティケアブランド。優れたステインケアで自然な白い歯と笑顔へ導き、気分も上向きに。



KENKODOJO

日本初の革新的健康食品・飲料ブランド。自然の力で、身体本来の機能を高めることをサポート。



2025年の業績と 今後の展望

2025年は、実行力を高め、ブランド基盤を確かなものとし、消費者中心のイノベーションを推進することで、持続的成長に向けた基盤を強化しました。

2025年の主な成果：

グローバルイノベーションの原動力を強化

消費財事業におけるグローバルでの研究開発およびグローバルサプライチェーン・品質体制を構築するとともに、地域間の連携と機動力を高めることで、変革を引き続き推進しました。また、グローバルマーケティング体制を強化し、地域別のアプローチから真にグローバルなモデルへ移行しました。これにより、消費者ニーズへの対応力を高め、成長機会の獲得を図っています。

重点チャンネルで売上成長を実現

ターゲットを絞った製品イノベーション、効果的なプロモーション、そして歯間ケア製品の継続的な好調により、売上成長を実現しました。また、チャンネルの優先順位をより明確にすることで、成長の速いチャンネルでの取り組みを強化しました。厳しい市場環境の中でも、事業の継続的な拡大を支えています。

ブランド基盤を強化

効果的なラインアップ拡張、ブランド展開の活性化、専門家からの推奨強化を通じて、戦略カテゴリーにおける認知とシェアを高めました。これにより、成長の拡大に向けたより強固な基盤を築きました。

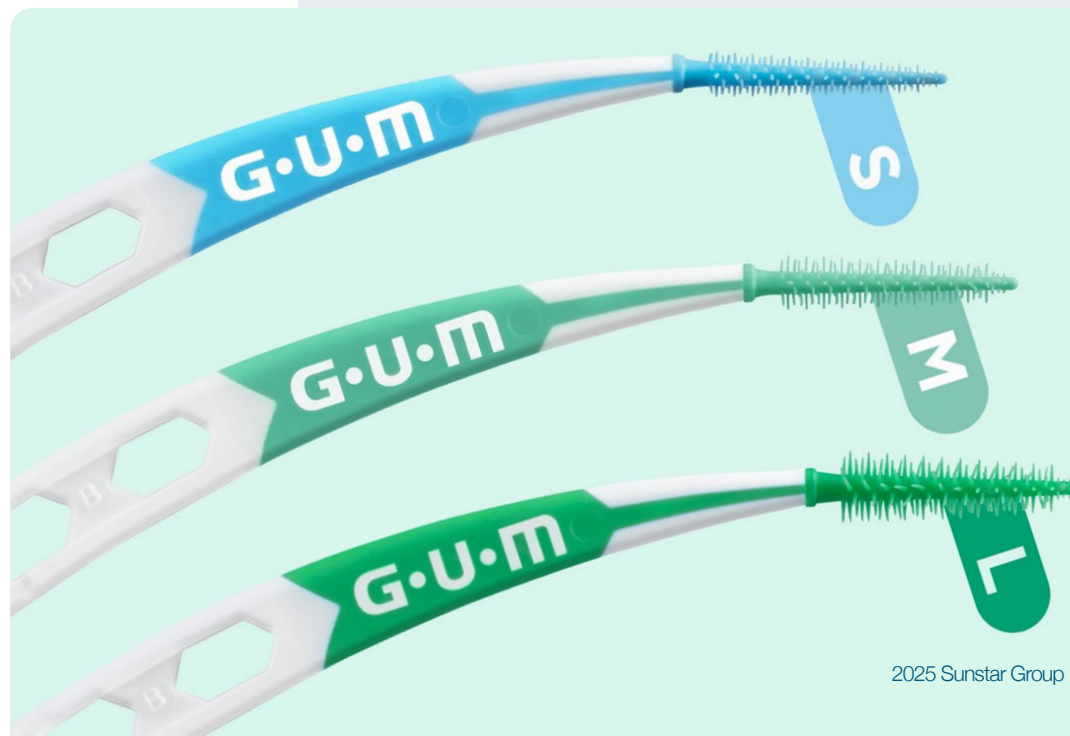
協働を通じてイノベーションを推進

産業界・学術界・地域社会との連携を深め、口腔の健康が全身の健康につながることへの認知を高めるとともに、消費者から直接フィードバックを収集し、今後のイノベーションに活かしています。

環境への取り組み

サンスターグループは、容器・包装に使用する石油由来プラスチックの割合を2030年までに50%まで削減する目標を掲げています。2025年には、日本において「サンスタートニックシャンプー」のリニューアルの一環として、植物由来原料を28%使用したバイオマスプラスチック容器を導入しました。この容器は一般社団法人日本バイオプラスチック協会のバイオマスプラマーク認定を取得しています。

各市場において、原材料の選定を改善し、消費者により分かりやすくリサイクル方法を提示しています。この取り組みを通じてリサイクル可能率を高め、サーキュラーエコノミー（資源循環経済）を支える製品や包装の展開を拡大しています。



事業拡大とイノベーションの強化

オーラルケア事業の世界的拡大を加速させると同時に、引き続きブランドリーダーシップ、消費者志向のイノベーション、デジタルトランスフォーメーションへの取り組みを進めます。

コネクテッド・オーラルヘルス機能の強化

ソフトウェア技術イノベーションと消費者志向のソリューションを統合した専門的な機能を構築し、コネクテッド・オーラルヘルスを強化しています。これにより、消費者や口腔ケア専門家に対して一人ひとりに合わせたサービスと教育を提供し、お口の健康を継続的に改善することを目指しています。

イノベーションの加速

消費者志向かつデータに基づいた知見を活用し、イノベーションを促進しています。世界中のお口の健康とウェルビーイングの向上という当社の使命を果たすため、影響力があり広く展開できる革新的なソリューションの開発に取り組んでいます。

中核オーラルケアブランドの強化

カテゴリーリーダーシップと長期的成長を支えるため、明確で差別化された価値提案を通じて当社の中核を成すオーラルケアブランドを発展させます。



健康道場

1988年から健康道場ブランドを通じて日本の健康食品事業に注力し、成長とイノベーションを推進し続けています。

2025年11月、健康道場では、HMPAを配合した新たな機能性表示食品「すらなS」を発売しました。HMPAは、体内の代謝スイッチ（AMPキナーゼ）を活性化し、脂肪と糖の代謝を上げることで、BMIが高めの方の内臓脂肪とウエスト周囲径を減らす働きや、LDLコレステロール、食後血糖値を下げる機能などが報告されています。

エリア別概況

日本・アジアのオーラルケア事業

中国コストコにおける事業拡大

中国コストコは、中国市場で成長を続ける数少ない小売チャネルの一つです。GUMブランドの店頭プロモーションを重点的に展開し、同チャネルにおけるサンスターの存在感を強化しました。このキャンペーンは購買者から大きな反響を得るとともに、イベント期間中、GUMブランドのハミガキは中国コストコで売上No.1を獲得しています。成長ポテンシャルの高いチャネルへ戦略的に注力してきた当社の取り組みの成果を裏付ける結果となりました。

大阪における産学官民連携とイノベーション創出

大阪府のライフサイエンスクラスター「健都」にあるサンスター大阪サテライト研究所を引き続き活用し、オーラルフレイルと全身の健康に着目したソリューションの開発を進めました。2025年度は「健都フェス」に参加し、口腔機能測定や新製品の紹介を通じて1,000名を超える来場者と交流しました。消費者から直接得た知見を

今後の開発に反映するうえで、貴重な機会となりました。

栄養とオーラルケアによる健康寿命延伸への取り組み

山梨県および一般社団法人山梨県歯科医師会との連携協定に基づき、より健康な長寿の実現に向けた取り組みを共同で進めました。2025年に甲府市で開催した公開講座では、約150名の方々にご参加いただき、栄養と日々のオーラルケアによって高齢者の健康寿命が延伸する可能性について紹介しました。



米州のオーラルケア事業



中南米の複数の国で過去最高売上を記録

アルゼンチンでは、新たな Advanced Care ラインの発売が成功し、GUMはオーラルケア分野で第2位の地位をさらに盤石なものとなりました。ブラジルでは、販売チャネルの拡大を背景に二桁成長となりました。コロンビアでは、成長が加速するとともに過去最高の収益性を達成しました。一方、メキシコでは堅調な業績を維持し、主要セグメントにおけるリーダーシップを強化しました。

中南米では、GUMの市場シェアが戦略カテゴリー全体で拡大しました。これにより、同地域は力強い勢いをもって2025年を締めくくり、持続的かつ収益性の高い成長の基盤を強化しました。

ブランドとチャネルの強化によりカナダで過去最高の売上を達成

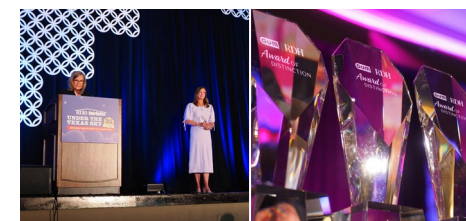
カナダでは2025年、過去最高の売上と大幅な



増益を達成し、5年連続の成長となりました。また、新たな小売チャネルでの採用、製品ラインアップの拡充、そして歯間清掃具の継続的な好調が業績を牽引しました。さらに、重要な取り組みとして、GUM「Healthier Gums, Healthier You」キャンペーンの展開や、口腔ケア専門家向けの新たなデジタル営業ツールの導入を行いました。

歯科業界における歯科衛生士の貢献を称える取り組み

第24回GUM | RDH Award of Distinctionを通じて、GUMは歯科衛生士の功績を称えるとともに、その活動を支援する取り組みを継続しました。また、2025年の同賞には米国とカナダから100件を超える応募が寄せられ、卓越した貢献が評価された6名が表彰されました。



エリア別概況

欧州のオーラルケア事業

GUMがフランスで

複数カテゴリーの首位を獲得

2025年、GUMはフランスの薬局チャンネルにおいて市場シェア11.4%を獲得し、No.1オーラルケアブランドとなりました。また、GUMはオーラルケア専門家から最も推奨される歯間ケアブランドとして認められました。カテゴリーシェアは53%を占め、リーディングブランドとしての地位を強化しています。さらに、GUMは歯列矯正ケア分野においてもカテゴリーシェア43%を獲得し、トップの地位を確立しました。



欧州および中東・北アフリカで

GUM ORTHOの展開を強化

2月には、GUM SONIC ORTHO電動歯ブラシの発売効果を最大化するため、歯科医院から店頭まであらゆるタッチポイントを網羅した専用の360度販売・マーケティングプログラムを展開しました。また、この戦略はすぐに成果を生み、GUM ORTHOは欧州全体で16%の成長を達成し、ブランド全体の成長率を大きく上回りました。さらに、このキャンペーンにより中東・北アフリカでも10%の伸びを記録しました。



購買者向けキャンペーンのキービジュアル

科学に基づくイノベーションに注力

ウィーンで開催されたEuroPerio11におけるサンスターの存在感は、科学的根拠に基づくイノベーションへのゆるぎないコミットメントを示すものになりました。また、GUMのブースでは、主に口腔マイクロバイーム、歯間ケア、患者の行動変容を紹介し、学習プログラムには213名の参加登録がありました。さらに、サンスターはフィリッポ・グラチアーニ教授を迎え、歯間領域の課題をテーマとする学術セッションを開催しました。加えて、サンスター財団は国際ペリオ賞授与式を開催し、同財団による歯周研究への長年にわたる支援が改めて示されました。



フィリッポ・グラチアーニ教授



GUMのブース



サンスター財団による国際ペリオ賞授与式



Our Industrial Business

付加価値の高い 生産財ソリューションを提供

サンスターの生産財事業は、世界中の顧客に付加価値の高いソリューションを提供しています。自動車、建築、電子機器業界向けの特種な接着剤・シーリング材とともに、モビリティ分野向けの精密金属部品を供給しています。

本事業の強化を進めるとともに、資源の使用効率を高め、廃棄物の発生を抑える製品設計および製造プロセスの運用を通じて、環境負荷低減に努めています。これらの取り組みは開発・生産の全工程に定着しており、長期的なパフォーマンスの向上と環境フットプリントの削減を両立させています。

ケミカル製品部門

産業用途全般において安全性、耐久性、資源効率の確保を支える接着剤およびシーリング材の製造・販売を行っています。自動車分野では、軽量化や燃費の向上、製品ライフサイクルの長期化を可能にする材料を世界中の顧客に供給しています。建築分野では、日本および中国において強固な事業基盤を確立しており、当社製品は、建築物の構造信頼性やエネルギー性能の向上に貢献しています。

また、電子部品用材料など新たな分野への展開も進めており、先進技術への需要拡大に対応しつつ、適正な化学物質管理および環境に配慮した製品開発を推進しています。

MC部門

世界中の顧客に向けて、精密金属部品の製造・販売を行っています。当社の製品ラインアップには、二輪用ブレーキディスクやスプロケット、船外機用リングギヤ、ならびに高精度の信頼性を備えた各種自動車部品などがあります。

各製造拠点において、高水準の安全性・品質・生産性を維持するとともに、エネルギー効率の高い工程や資源の最適活用を通じて、環境負荷を低減しています。これらの取り組みは、当社顧客への安定供給と持続可能な製造体制を支えています。

生産財事業の構成

ケミカル製品部門

- 自動車用途
- 建築用途
- 電子部品用途

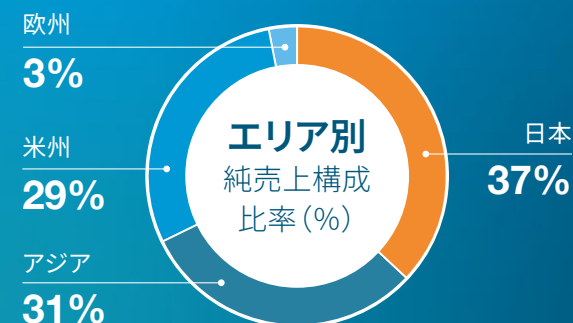
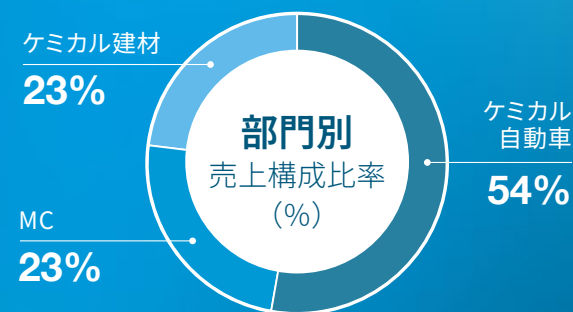
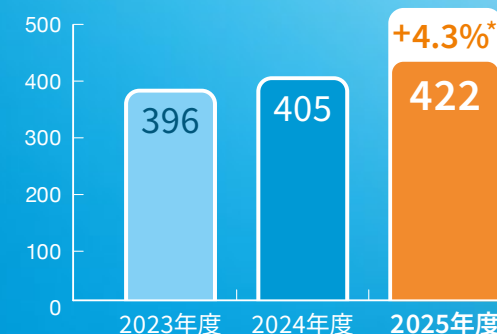
PENGUIN

MC部門

- 二輪部品
- その他（モビリティ部品・家電部品）

SUNSTAR

生産財事業 純売上(百万スイスフラン)



2025年度の主な業績

ケミカル製品部門

- **自動車用途:**生産能力の強化を背景に、北米市場において欧州および北米の自動車メーカーとの新規開発案件が拡大し、売上は増加しました。
- **建築用途:**中国市場において製品ラインアップを拡充するとともに、営業活動を強化しました。日本では、2025大阪・関西万博関連プロジェクト向けに相当量のシーリング材が採用されました。
- **電子部品用途:**ベゼル用接着剤を使用した車載ディスプレイが、複数の自動車OEMで広く採用されています。



MC部門

- **二輪部品:**新興電動二輪車メーカーによる当社ブレーキディスクの採用が進むなど、二輪部品において顧客基盤が拡大しました。熱処理工程における電力使用量の削減など、製造プロセスのエネルギー効率向上によりコスト削減を実現しました。
- **その他:**欧州最大手の自動車部品メーカーからファインブランク部品の新規プロジェクトを獲得し、事業を拡大しました。さらに新たな挑戦として、高速プレス技術を用いて製造したモーターコアの供給を開始し、家電分野における顧客基盤を拡大しました。



今後の展望と成長戦略

サンスターの生産財事業は、ケミカル製品およびMCという2つの主要領域で顧客に製品を供給していますが、内部的には事業部単位で事業を管理しています。アカウントビリティの強化と意思決定の迅速化を図るため、組織体制を再編し、ケミカル自動車部門、ケミカル建材部門、MC部門の3事業部制としました。

ケミカル自動車部門は、日本、アジア、米州・欧州の3地域体制で組織されており、アカウントビリティの明確化と業務執行力の強化を図るため、各地域に統括責任者を配置しています。ケミカル自動車部門における研究開発 (R&D) は、開発効率および事業全体のパフォーマンス向上を図るため、グローバル体制で統括しています。

ケミカル自動車部門では、2026年度にインドおよびメキシコに現地子会社を設立する予定であり、地域事業基盤の強化を図ります。これと並行して、欧州、北米および中国の自動車メーカーとの事業拡大を継続し、グローバルな成長機会を捉えるとともに、段階的かつ規律あるアプローチによりリスクを管理していきます。

ケミカル建材部門では、製品カテゴリーの拡充と外部パートナーとの連携強化を進め、総合ケミカル建材メーカーへの進化を目指すとともに、アジア全域での事業開発を加速します。

MC部門では、主力の二輪事業において生産効率および競争力の強化、ならびに市場シェアの拡大を図ります。併せて、金属加工の対応領域を拡大し、自動車および家電メーカーとの新たな事業機会を創出していきます。



Sustainability

持続可能な未来のために サンスターが果たす役割

サンスターは、環境・社会・ガバナンスからなるサステナビリティ活動が、地球の未来と私たちの長期的な事業の発展に不可欠であると認識しています。私たちは、ステークホルダーとの対話や共創をもとに消費財事業と生産財事業の強みを活かした事業創造によって持続可能な未来の構築を目指しています。

サンスターは、事業活動を通じてSDGs^{*1}の達成に貢献するため、4つの重点目標を設定しています。



*1. SDGs (Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標) : 国連加盟国が2030年に向けて、経済・環境・社会のバランスが取れた持続可能な世界の実現を目指して採択した17のグローバル目標。



詳細はこちら：
www.sunstar.com/jp/sustainability

環境への取り組み

サンスターグループ 中長期環境目標と進捗

気候変動対策は、サンスターのサステナビリティへの取り組みにおける中心的な要素です。サンスターは持続可能な原材料やエネルギーの選定、より効率的な資源の使用により、環境負荷の低減に努めています。








植物由来の原材料や再生素材の使用から100%再生可能エネルギー化の達成に至るまで、当社は持続性に寄与する活動を行っています。また、より高いレベルで説明責任を果たし、本質的な脱炭素を進めるため、バリューチェーン全体でのCO₂排出量算定の取り組みも拡大しています。

中長期環境目標に対する2024年の実績は右図の通りです。

2025年の進捗

2025年には主に以下の成果がありました。

- ハブラシ、歯間清掃用具、洗口液、シャンプーの**製品や容器包装材における植物由来プラスチックの採用**を拡大しました。
- **再生可能電力の調達**は、欧州での進展に加え、2025年に日本、アジア、米州で加速しました。
- 再生可能電力比率向上や工場設備の効率稼働により、2025年の**CO₂排出量削減目標**の達成に向けて順調に進捗しました。

	2022年 達成度	2023年 達成度	2024年 達成度	2030年 目標
 容器・包装材のプラスチック: 植物由来／リサイクルプラス チック使用比率向上	6%	14%	27%	50%
 使い終わった容器・包装材: リサイクル／リユース可能な 材料比率向上	68%	75%	74%	100%
 容器・包装材に使う紙: FSC ^{*1} 等の森林認証紙比率 向上	70%	71%	81%	100%
 製品に使うパーム油: RSPO ^{*2} 等の持続可能認証 比率向上	14%	25%	40%	100%
 自社工場・事業所で使う 電力: 再生可能電力 (CO ₂ フリー電力) 比率向上	27%	24%	24%	100%
 自社工場で使う水: 生産量当たりの水使用量 削減	9%	-23%	-12%	-20%
 自社工場・事務所で排出 するCO₂: 総排出量削減 (Scope 1+2)	-21%	-13%	-17%	-85%

*1. FSC® (Forest Stewardship Council = 森林管理協議会) FSC N003962。詳細はこちら: www.fsc.org

*2. RSPO (Roundtable on Sustainable Palm Oil = 持続可能なパーム油のための円卓会議)

当社進捗状況: rspo.org/ja/members/4-1382-21-000-00/

2025年新たな環境への取り組み

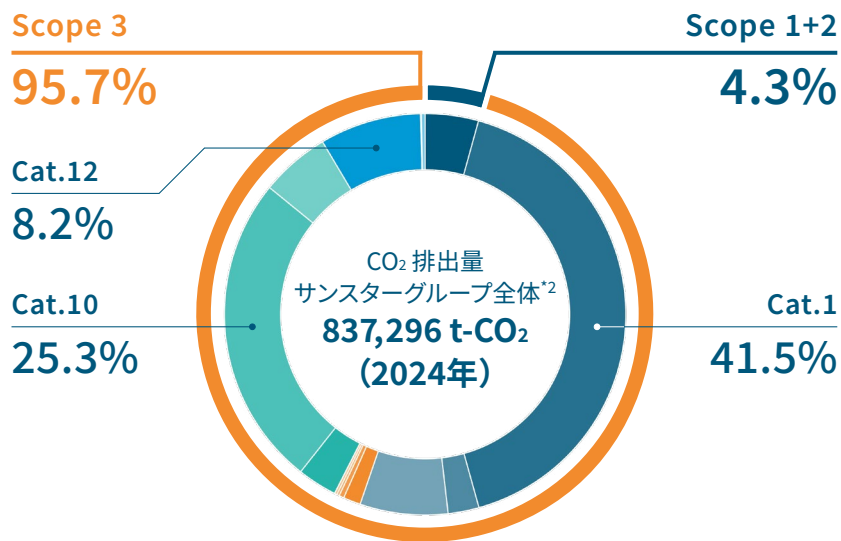
SBTiに準拠したCO₂排出削減目標の策定へのコミットメント

気候変動に関する規制や国際基準が進展する中、企業には自社工場や事務所からのCO₂排出量 (Scope1, 2) だけでなく、原材料製造、輸送、製品使用、廃棄を含むすべての事業活動に伴うCO₂排出量 (Scope3) の削減が期待されています。そこで2025年、主要なグローバル拠点における2024年度のScope1, 2, 3のCO₂排出量を算定しました。さらに、CO₂排出削減目標の国際認証枠組みであるSBTi*¹に準拠したCO₂排出削減目標を策定する意向を正式に宣言しました。



コンシューマー向け製品・包装材での石油由来プラスチック使用削減、オートバイ用金属部品やシーリング材容器の製造過程における環境負荷低減に継続的に取り組んでいます。

詳細はこちら: www.sunstar.com/jp/sustainability/environment/products



Scope 1+2 自社での燃料・電力使用	Scope 3, Cat.1 原材料の生産	Scope 3, Cat.2 設備投資	Scope 3, Cat.3 エネルギーの採掘・精製	Scope 3, Cat.4 原材料の輸送	Scope 3, Cat.5 工場廃棄物	Scope 3, Cat.6 従業員の出張	Scope 3, Cat.7 従業員の通勤
4.3%	41.5%	2.5%	7.1%	1.4%	0.4%	0.2%	0.2%
Scope 3, Cat.8 リース機器	Scope 3, Cat.9 製品の輸送	Scope 3, Cat.10 取引先工場での処理	Scope 3, Cat.11 製品の使用	Scope 3, Cat.12 製品の廃棄	Scope 3, Cat.13 リース先企業	Scope 3, Cat.14 フランチャイズ加盟店の施設	Scope 3, Cat.15 投資先企業
0.01%	3.2%	25.3%	5.6%	8.2%	0.04%	0.02%	0.3%



RSPOの2025年の評価において、サンスターは、RSPO認証原料を前年比12%増加させ、推奨アクションプランを実施したことにより、トップスコアを獲得しました。



EcoVadisのサステナビリティ評価においてSunstar Engineering Europe GmbHは上位15%以内に入るシルバーメダルを獲得し、サンスター株式会社(日本)はコミットメントバッジを取得しました。

*1. Science Based Targets initiative (SBTi) = 企業の科学的知見に基づいた温室効果ガス排出量削減目標設定を認証する国際的イニシアチブ。

*2. 一部の小規模事業所および新規グループ会社は、現時点では算定対象に含まれていません。今後、算定範囲を順次拡大します。

成長と革新を支える企業文化の構築

サンスターは、世界の人々の健康とウェルビーイングの向上を通じて、持続可能な事業成長を実現していきます。その実現に向けて、サンスター社員一人ひとりが自ら意欲を持ち、挑戦し続けられる企業であることを目指します。私たちの取り組みは、「成長の促進」「効率性の向上」「能力の強化」という3つの変革の柱を指針としています。

人財を支える仕組み

当社の「グローバル人事方針」は、4つのコミットメントを基盤とし、グループ全体でサンスター人を支援するための基本方針を定めています。

- **優秀な人財の確保と育成** — 最適な人財を惹きつけ、定着させるとともに、そのスキル・能力を一段と高めることで、事業の成長を加速させます。
- **従業員エンゲージメント** — 社員一人ひとりとサンスターの使命との間に深い心の結びつきを育み、成果志向の企業文化を醸成します。
- **持続可能なパフォーマンス** — サンスター社員の心と体の健康向上に取り組み、長年にわたり持続的な成果創出を実現します。
- **システムやプロセスの継続的改善** — 目に見えて事業を加速させる、機動的な人事ソリューションを展開します。

傾聴と改善の実行

- サンスターは2025年、グループ全体で初となるグローバル従業員エンゲージメント調査を実施しました。参加率は77%に達し、サンスター人の強いコミットメントを示す結果となりました。
- 調査結果を踏まえた改善施策を実行するとともに、従業員の声に引き続き耳を傾け続けます。また、改善の進捗については社内ですぐ共有していきます。

人を尊重する組織へ

多様な視点が力に変わる環境を築く

- サンスターの外で培われた経験を持つ人財と、長年にわたり当社で活躍してきた社員たちの知見、そして多様な世代・性別・国籍の違いがもたらす力を融合させます。
- 多様な思考やコミュニケーションのスタイル、そしてそれぞれの人生経験を認識・理解し、誰もが自らの強みを発揮しながら、効果的に協働できる環境を築きます。

リーダーの役割を明確にし、チームの潜在力を引き出す

- 研修やコーチングへの投資を通じて、管理職が一人ひとりの強みを高められるよう支援します。これにより、誰もが支えられていると感じ、自らの力を発揮できる環境を築きます。

人財に投資する

- グローバル四賞などの取り組みを通じて、表彰や学びの機会、そしてつながりの創出に投資します。さらに、人事組織の強化を続け、全社にわたり人を中心とした力強い支援体制を整えます。これにより、各部門の知見の共有を促進し、課題解決を迅速化するとともに、より優れたアイデアをお客様向けの取り組みに反映させます。

健康、ウェルビーイング、そして生活の質を持続可能なパフォーマンスの中核に据える

- 心身の健康を支援することで、サンスター人は長年にわたり効率よく持続可能な形で力を発揮することができます。
- 日々使用するツールによってもたらされる効率性は、生活の質の向上に寄与すると考えています。テクノロジーが円滑に機能し、使いやすいものであれば、時間を生み出し、集中力を支えてくれます。

社会への貢献と取り組み



研究助成と啓発

サンスターは歯周病研究、口腔と全身の健康の関連性についての研究、歯科衛生士の活動への表彰や助成を世界中で行うとともに、これらの取り組みの認知向上を図っています。



地域社会への貢献

スイス、ドイツ、カナダ、タイではオーラルケア製品、生活必需品、おもちゃの寄付を、米国、インドネシア、タイでは献血活動を、ドイツでは植樹や養蜂など生物多様性向上に向けた取り組みを通じて、地域社会へ支援を行いました。



災害支援と健康啓発

タイでは洪水被災者への大規模な支援活動として、食料や医薬品などの生活必需品を提供しました。また、日本やスペインでも過去の大規模災害の際にオーラルケア製品を提供しています。日本では、災害時のお口の健康維持の重要性について全国的な啓発活動を続けています。



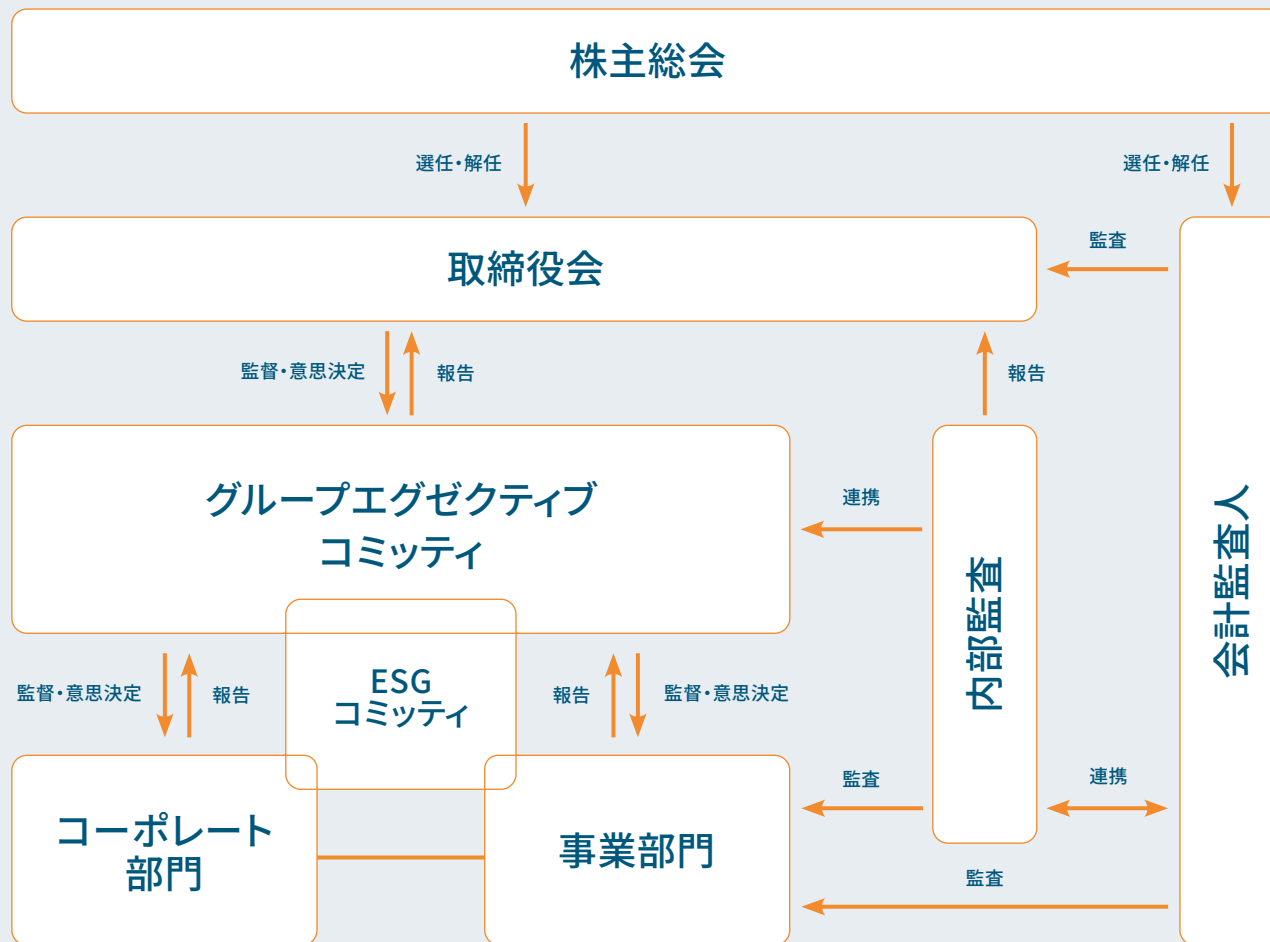
文化支援

サンスターは、工場のある徳島の「阿波おどり」や、山梨の「信玄公祭り」などの地域文化行事に社員が参加することを通じて、創業の地である日本の文化を支援しています。また、書道文化・諸美術の普及を行う歴史ある書道団体の日本書道美術院を支援しています。

ガバナンスへの取り組み

サンスターでは、社是とビジョンに基づき、ガバナンスと事業運営において最高水準の実現に全力で取り組んでいます。

コーポレートガバナンスの枠組みにより透明性の高い意思決定、報告、情報共有を徹底し、倫理的リーダーシップおよび持続可能な事業運営への取り組みを強化しています。



ESGコミッティの設立

サステナビリティの取り組みを加速させるために、2025年にESGコミッティを設立しました。グローバルにおける主要な部門と事業領域から選出された役員や経営幹部で構成される同コミッティは、当社のサステナビリティに関する強みや課題を踏まえ、全体方針や重要施策の審議と優先順位付けを行っています。



経営陣

サンスターのグループエグゼクティブコミッティは、最上位の経営陣で構成され、事業の方向性を示し、業績と成長に重点を置いた経営を推進しています。消費財事業および生産財事業、ならびにグローバル機能部門のリーダーがメンバーとなっています。

グループ エグゼクティブ コミッティ



岡本 雄二

エグゼクティブコミッティ
議長



黒木 昭彦

消費財事業 CEO



鵜飼 正樹

生産財事業 CEO



Philippe Georges

グループ最高財務責任者
(CFO)



René Bujard

グループ人事、コーポレート
コミュニケーション



Wieland Noetzold

グループガバナンス・リスク・
コンプライアンス(GRC)



Andrew Thorson

取締役会書記
グループ法務

取締役会



Michel Pettigrew

取締役会 会長



Marcel Schmid

取締役会 副会長



金田 真弓

取締役

リスクマネジメント

強固なリスク管理戦略による積極的なリスク軽減

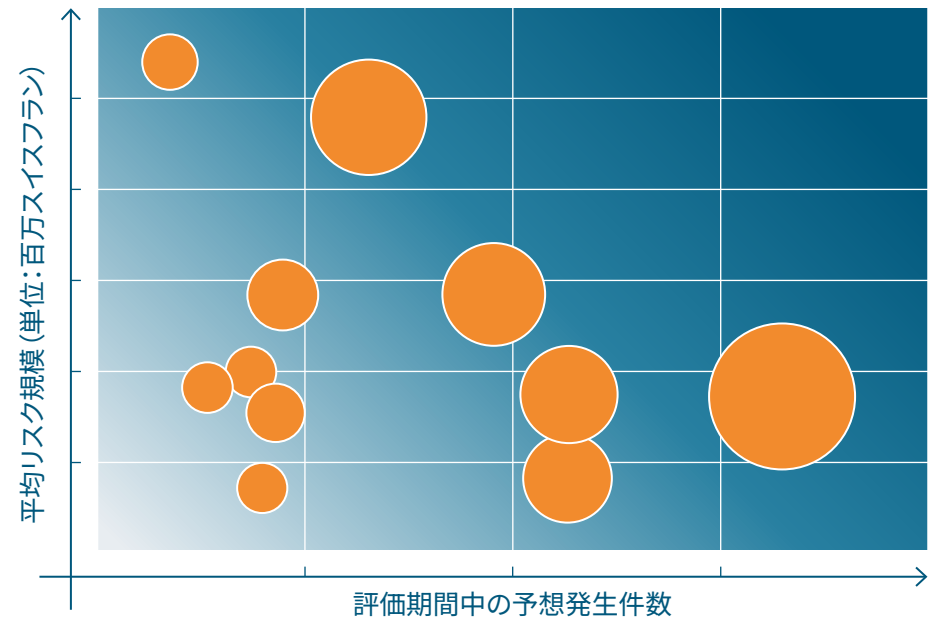
サンスターの企業リスク管理 (ERM) 部門は、取締役会、経営層および各事業の運営チームによるリスク・エクスポージャー低減の取り組みを積極的に支援するために設置されました。

ERM部門は、各事業部門と緊密に連携し、戦略的リスクを体系的に特定・評価・軽減・モニタリングすることで、サンスターの長期的なレジリエンスの向上に重要な役割を果たしています。

長年にわたり、当社は一連の革新的なツールを開発し、リスク管理分野におけるリーダーとしての地位を確立してきました。

定量化によるエクスポージャーの特定

グローバル・リスクマップ:規模別主要カテゴリー (規模=潜在的な逸失利益)



サンスターのリスク管理の取り組みは、主に3つの原則に重点を置いています。

01.

リスクの定量化

財務KPIやリスク属性の高度な分析を通じてリスクを定量化・集約し、国内外のレベルで想定される潜在的なエクスポージャーの全体像を可視化します。

02.

継続的な状況把握と分析

予測したリスクと実際に発生した事案を比較・検証することで、リスク予測の精度を高め、戦略を強化しています。

03.

リスク軽減ワークショップ

経営層との定期的なワークショップを通じて、積極的なリスク低減を図っています。これらの取り組みにより、2025年を期末とするローリングの3年間に於いて、リスク値は平均15%低減しました。



SUNSTAR

Sunstar SA

Route de Pallatex 11
1163 Etoy, Switzerland

www.sunstar.com

Linkedin @sunstar

